

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-328277

(43)公開日 平成11年(1999)11月30日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/26

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-129815

(22)出願日 平成10年(1998) 5月13日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 服部 恵一

東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株  
式会社内

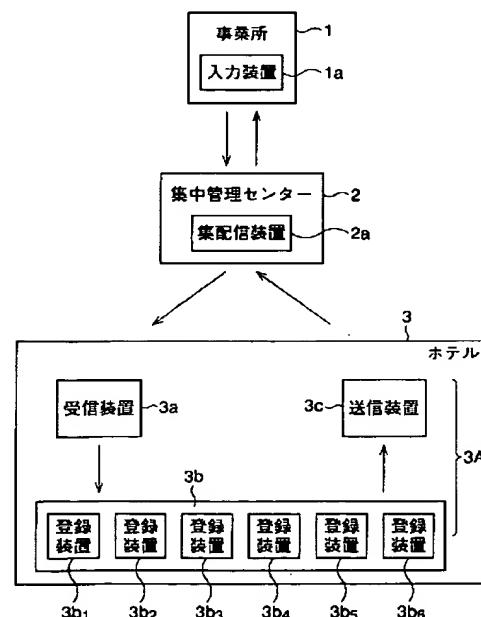
(74)代理人 弁理士 小橋川 洋二

(54)【発明の名称】 予約受付システム

(57)【要約】

【課題】 予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録  
・予約変更・連絡等の際に、システム全体の無駄を省いた  
予約受付システムを提供する。

【解決手段】 予約受付窓口（事業所）1に設置され、  
予約に関するデータの入出力を行う端末機1aと、予約  
の相手先（ホテル）3に設置され、当該相手先における  
予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処  
理を行う予約判断処理装置3Aと、前記端末機と予約判  
断処理装置との間に設置され、該端末機と予約判断処理  
装置との間における予約に関するデータの集配を行う集  
配信装置2aとをオンラインで接続する。



BEST AVAILABLE COPY

**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 予約に関するデータの入出力を行う端末機と、

予約の相手先に設置され、当該相手先における予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処理を行う予約判断処理装置と、

前記端末機と予約判断処理装置との間に設置され、該端末機と予約判断処理装置との間における予約に関するデータの集配を行う集配信装置とを備えたことを特徴とする予約受付システム。

【請求項2】 前記予約判断処理装置は、配信された予約に関するデータの可否判定・編集・登録を含む処理を行うことを特徴とする請求項1記載の予約受付システム。

【請求項3】 前記予約判断処理装置は、配信された予約に関するデータの二重登録を防止する二重登録防止手段を備えたこととする請求項1または請求項2記載の予約受付システム。

【請求項4】 前記予約判断処理装置は、前記端末機からの直接入力指示に応じて登録内容を変更可能にしたことを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれかに記載の予約受付システム。

【請求項5】 前記予約判断処理装置の設置場所は、グループを構成するホテルであることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の予約受付システム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、予約受付システムに関し、特に予約受付窓口とホテル等がオンラインで結ばれている予約受付システムに関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 図3(A)は、従来の予約受付窓口から複数のホテル(グループホテル)のいずれかを選択してオンラインにより予約登録するシステムの概念図である。図3(A)において、繁華街等に設置した事業所(予約受付窓口)101からホテル(予約相手先)103に予約する場合に、事業所101からの予約データを集中管理センター102に一旦登録した後、該センター102は一定時刻に前記予約登録されたホテル103に予約データを配信する。該予約データを受信した各ホテル103は、受信予約データに基づき予約の登録・変更等を行う。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** しかしながら、前記従来のシステムでは、図3(B)に示すように、事業所101から集中管理センター102に一旦予約登録102aし、各ホテル103側は前記センター102からの情報を予約受信103aした後、手動入力式により自己のホテルのコンピュータに予約登録103bしなければならず、システム全体から見ると非常に手間が掛かっていた。

た。即ち、従来のシステムでは予約に関するデータの二元管理を行い、また手動の処理方式を採用していたので、非常に手間が掛かっていた。

【0004】また、各事業所101と各ホテル103との間では、事業所からホテルのみへの一方通行のデータ送信であるため、事業所にしてみればホテル毎の予約状況、予約データが確認できず、事業所101から電話連絡等の手段によりホテル103への確認が必要であった。

10 【0005】そこで本発明の課題は、予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録・予約変更・連絡等を行う際に、システム全体の無駄を省いた予約受付システムを提供することである。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** 前記課題を解決するために本発明は、予約に関するデータの入出力を行う端末機と、予約の相手先に設置され、当該相手先における予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処理を行う予約判断処理装置と、前記端末機と予約判断処理装置との間に設置され、該端末機と予約判断処理装置との間における予約に関するデータの集配を行う集配信装置とを備えたことを特徴とする。

20 【0007】このようにすれば、集配信装置を介して端末機と予約判断処理装置とを直結することができるので、予約に関する情報の二元管理が無くなり、また予約判断処理装置が実行した結果が直接端末機に送信されるので、予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録・予約変更・連絡等を行う際に、システム全体の無駄を省くことができる。

**【0008】**

**【発明の実施の形態】** 以下、本発明の予約受付システムを図示の実施形態例に基づいて説明する。図1は本実施形態例の構成図である。

【0009】図1に示すように、予約受付システムは、各ホテルに対する予約の登録、予約状況の問い合わせを入力する各事業所(予約受付窓口)1に配置された入力装置1aと、事業所1から入力されたデータを対象ホテル(指定されたホテル)に配信すると共に、その対象ホテル3からの結果通知を事業所1に返信する集中管理センター2の集配信装置2aと、該集配信装置2aから配信されたデータの各種処理を行う各ホテル3毎に設置された次に説明する予約判断処理装置3Aとを備えている。

40 【0010】前記予約判断処理装置3Aは、集中管理センター2の集配信装置2aからのデータを受信する受信装置3aと、受信データの確認(検査)、編集、登録を行う登録装置3bと、登録結果を送信する送信装置3cとを有している。前記登録装置3bは、宿泊予約状況問い合わせ用の第1登録装置3b1と、宴会予約状況問い合わせ用の第2登録装置3b2と、個人予約登録用の第

3登録装置3b3と、個人予約変更用の第4登録装置3b4と、団体予約登録用の第5登録装置3b5と、団体予約変更用の第6登録装置3b6とからなる。

【0011】次に、本実施形態例の動作を図2のフローチャートに基づいて説明する。グループを構成する各ホテル3の予約状況確認、予約登録を行う場合には、事業所1の入力装置1aより所定の情報入力を行う（ステップS1）。前述のようにして入力された情報（ホテルの指定を含む）は、集中管理センター2の集配信装置2aにより、指定されたホテルに設置された予約判断処理装置3Aに配信される（ステップS2）。

【0012】各ホテルに配信された情報は、ホテル3の受信装置3aにより、空き室確認、個人・団体の別、修正の有無、キャンセル等の処理内容が判別され（ステップS3）、判別内容に応じて予め設けられているデータ登録装置3bに振り分けられる（ステップS4）。登録装置3bは、前記6台の登録装置3b1～3b6毎にデータの検査（データ自体のフォーマット等）を行い、可否判定を行った上で（ステップS5a～5f）、その結果を編集し送信装置3cに引き渡す。指定期日の空き室の有無等の条件が適合し、当該データの登録が可能な場合には、自ホテルの情報として登録装置3b1～3b6への正式登録を行う（ステップS6a～6f）。

【0013】送信装置3cは登録装置3bから引き渡された前記情報を集中管理センターの集配信装置2aに送信し（ステップS7）、集配信装置2aは、情報入力元である事業所1の入力装置1aに結果を通知する（ステップS8）。

【0014】このようにすれば、事業所1から入力されたデータは、同時に各ホテルのマスタ装置（予約判断処理装置）により判定され、その判定結果が事業所1に送信されるので、事業所1から各ホテルへの確認が不要となり、ホテルでの再入力、修正処理も不要となる。また、ホテル3の予約判断処理装置3Aに検索機能を持たせれば、ホテル3に登録された最新予約内容に対し、事業所1からの指示による変更処理が実行できるため、ダブルブッキング（二重登録）等のデータの不整合が解消される。

【0015】即ち、本発明によれば、集中管理センターでのデータ管理を廃止し、事業所から入力されたデータを同時に各ホテルに送信し、各ホテルに即時更新および

結果送信機能を設けることにより、事業所に対して問い合わせ結果、予約登録の可否等を通知することができるるので、データの二元管理および未登録などのデータ登録の無駄、不整合を防止すると共に、電話等による確認等の手間を省くことができる。

【0016】なお、本実施形態例では予約判断処理装置を設置する場所としてホテルの場合を説明したが、例えば病院等の医療施設、滞在型のリゾート施設、コンビニエンスストアの在庫管理等にも本発明を適用できるのは勿論である。

#### 【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、事業所（予約受付窓口）から入力された情報は、即時に各ホテル（相手先）に送信され、各ホテルのマスタ装置（予約判断処理装置）により判定された結果は入力元の事業所に返信されるので、事業所から各ホテルへの予約状況確認および電話等による予約の登録依頼、確認が不要となる。また、事業所から入力されたデータは、各ホテルのマスタ装置とのチェックが行なわれ、自ホテルでの入力と同一のデータとしての登録が行なうことが可能となるので、各ホテルでのデータの入力、変更処理が不要となり、各ホテルでは事業所のデータを再確認する必要がなくなる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態例の全体構成図である。

【図2】同実施形態例の動作を示すフローチャートである。

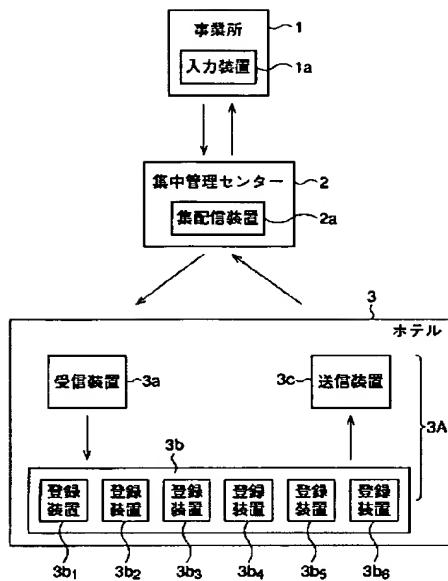
【図3】従来のシステムを示す図であって、（A）は概略システム構成図、（B）はシステム構成部署の細部を示す図である。

#### 【符号の説明】

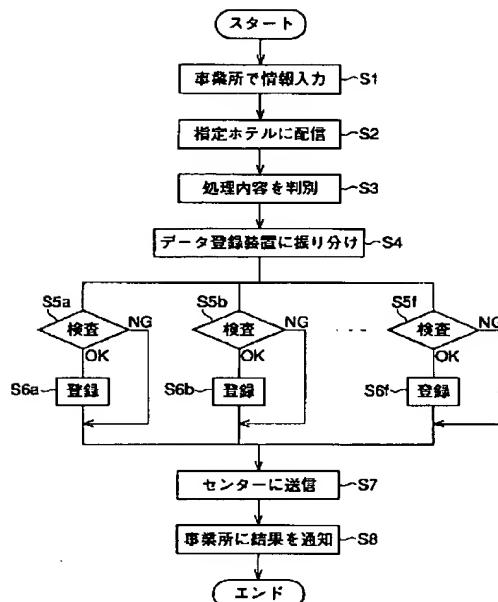
- 1 事業所（予約受付窓口）
- 1a 入力装置
- 2 集中管理センター
- 2a 集配信装置
- 3 ホテル（相手先）
- 3A 予約判断処理装置
- 3a データ受信装置
- 3b データ登録装置
- 3c データ送信装置

40 40

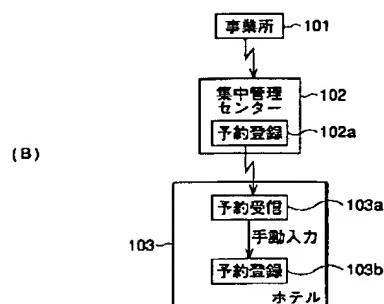
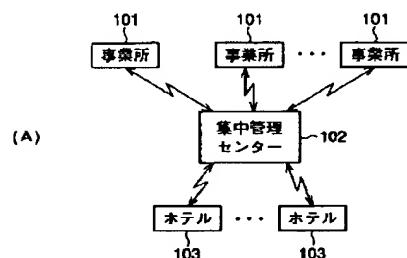
【図1】



【図2】



【図3】



BEST AVAILABLE COPY